

第 2 回 CCS 事業・国内法検討ワーキンググループ 議事次第

1. 日時：2022 年 10 月 7 日（金）10 時 00 分～12 時 00 分
2. 会議形式：オンライン開催
3. 議事次第
 - (1) 開会
 - (2) 議事
 1. 第 1 回 WG の振り返りと今後の WG での議論の進め方
 2. CCS 事業に関する法的枠組み
 3. EOR・EGR の法的枠組み
 4. CO₂ の法的性質
 5. 質疑応答
 - (3) 閉会

以上

[配布資料]

資料 1. 議事次第

資料 2. 委員名簿

資料 3. 第 1 回 WG の振り返りと今後の WG での議論の進め方（資源エネルギー庁）

資料 4-1. CCUS に関する緊急提言（石油鉱業連盟・石油連盟・電気事業連合会・天然ガス鉱業会・日本ガス協会）

資料 4-2. 事業法の枠組みについて（西村あさひ法律事務所）

資料 4-3. CCUS 事業に関する法的枠組みに関する基本的考え方（資源エネルギー庁）

資料 5-1. EOR/EGR 技術概要および日本での CO₂ 圧入事例（JOGMEC）

資料 5-2. EOR 等に適用される環境規制の状況（西村あさひ法律事務所）

資料 5-3. EOR、EGR と鉱業法・鉱山保安法、「CCS 実証事業の安全な実施にあたって」について（資源エネルギー庁）

資料 5-4. 「CCS 実証事業の安全な実施にあたって（平成 21 年 8 月）」（資源エネルギー庁）

資料 6-1. 二酸化炭素の法的性質（西村あさひ法律事務所）

資料 6-2. 炭酸について（岩谷産業株式会社）

資料 6-3. 合成燃料の実用化・商用化に向けた挑戦（石油連盟）

資料 6-4. 都市ガス業界のメタネーションの取組み（日本ガス協会）

資料 6-5. CCUS 事業における二酸化炭素の法的性質について（資源エネルギー庁）